

趙 梁鈺

ZHAO Liangyu



彼女、彼女、彼女

油彩、カンヴァス

## 彼女、彼女、彼女

多様化・差別化の現実社会において、「女性はどのようなもの」という質問の答えは男性の視点から見たものが多い。ヴァージニア・ウルフは『自分だけの部屋』で次のようなことを述べた。女性のイメージは異性との関係を絶ってから初めて表に出す。だから女性としての私は自分の視点から周りの女性を観察することで、こころから女性のイメージを表現するようにした。私の心の中にある女性像を描こうと絵を描くとき、自然は常にインスピレーションと力を与えてくれる。自然の中にと、いつも女性のエネルギーを感じるができる。だからこそ、私の作品にはさまざまな形の植物が登場し、あらゆる植物の形がさまざまな女性像の存在を表しているのである。

同時に『グレー ト・マザー—無意識の女性の現象学—』(エーリッヒ・ノイマン著)という本には、自然界における生産性と創造性は男性が恐れる力と同様に女性的な力を表していると書かれている。どんなことがあっても、女性が自分の力を信じ、突破し、社会によって定義されたイメージを超えて自分を成長させることを願っている。

修了制作『彼女、彼女、彼女』は、主に3人の女性に対する私の感情を表現している。私の家族では、女の子はたくさん勉強する必要はなく、いい家に嫁いで家系を継ぐことが人生の最終目標だといつも教えられてきた。私だけでなく、母の世代の女性たちもそのことで苦しんでいた。だからこそ、家族の中の女性たちを観察対象とし、彼女たちの生活、行動、性格、感情を描いている。彼女たちのことを考えるたびに、私の中にさまざまな感情が沸き起こる。感情は私にとってエネルギーフィールドのようなもので、周りの物事や人の精神活動そのものにまで影響を与える。その感情がネガティブなものであれ、ポジティブなものであれ、私が最も即座に捉えることができるのは、彼女がどんなイメージなのかを考えることに集中したときに生じる感情だ。そこで私は、この感情を増幅させ、植物の要素を用いて抽象的な視覚的変容を起こすと同時に、その感情がもたらすエネルギーを描く過程で感じ、その存在の意味を私と共に感じるのである。